

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0101	実施計画	対象
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 小中学校児童生徒
 保護者
 教員

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 小中学生が悩みを話せる場所が設置され、心にゆとりが持てるようになっている。いじめ・不登校の児童生徒及び保護者に対する教員のカウンセリング能力が向上し、指導助言により児童生徒が健全に育成されている。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 ・いじめ問題専門委員会(金城学院大学教授、弁護士、瀬戸旭医師会医師、臨床心理士、市社会福祉協議会)を設置し、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめ重大事態が発生した場合の調査を行う。
 ・いじめ問題対策連絡協議会(小中学校、県中央児童・障害者相談センター、名古屋法務局、守山警察署、児童生徒の保護者、少年センター、市教育委員会)を設置し、関係機関が連携・協力する。
 ・いじめ・不登校対策委員会(教職員、家庭児童相談員、教育研究室、適応指導教室、少年センターで構成)を設置し、いじめ・不登校の実態把握及び指導支援事業を展開する。
 ・いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識をもつスクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援をする。
 ・いじめ不登校対策及び発達障がい等の諸問題に対応するため、心のアドバイザー3人を教育研究室に配置し、相談業務を実施する。
 ・小中学校における不登校の未然防止・早期対応策として、児童生徒が悩み等を気軽に話せる心の教室相談員を各小中学校に1人配置する。
 県派遣のスクールカウンセラーが各中学校に1人配置されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	県スクールカウンセラーによる相談開設総時間	時間	1,242	1,251	1,248	1,253
	市スクールソーシャルワーカーによる相談総日数	日		234.5	234	217.5
成果指標	「心の教室相談員」への相談件数・来客者数	件	21,928	27,813	25,000	23,394
	いじめ不登校対策事業の延べ参加人数	人	450	548	550	546
事業費 計			14,766	14,642	15,345	13,791
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県		800	800	800	800
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		13,966	13,842	14,545	12,991

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 「心の教室相談員」への相談件数・来客者数は、30年度実績と比較して4,419件減少している。 (原因) いじめ・不登校の防止対策として、気軽に相談できる相談窓口としての「心の教室相談員」への相談・来客者が昨年度まで増加傾向にあったが、今年度は、ほとんどの月で来客者の減少がみられ、相談窓口が認知されたことにより落ち着いたものと考えられる。また、3月が休校になったことも影響している。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	各中学校に配置しているスクールソーシャルワーカーの有効な活用を進めます。いじめ問題などで相談ができない児童生徒の把握と対応を進めます。		
実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	スクールソーシャルワーカーを活用し、いじめ・不登校等の対応支援を行った。各学期ごとにアンケートを実施し、実態把握に努め、必要な対応を行った。		

適応指導教室（つくしんぼ学級）運営事業

[252]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0102	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	不登校傾向の小中学児童生徒(1か月に7日以上休む児童生徒)	・心理的・情緒的な理由による不登校傾向の児童生徒を対象に適応指導教室(平日9:00~15:00 指導員3名)を運営し受け入れる。(場所:中央公民館1階) 教育相談、適応相談 適応指導、訪問指導 調査研究、啓発活動 情操教育やレクリエーション(遠足等)なども実施 ・適応指導教室の相談援助活動の一環として、保護者の派遣申請を受けて、校長が派遣申請をした不登校傾向の児童生徒に対し、相談員としてメンタルフレンド(予め市に登録された大学生等)を家庭に派遣する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・児童生徒を集団生活への適応を促すため、学校への復帰を支援する体制が整っている。
 ・児童生徒の社会的立ち直りを側面的に支援している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	通室児童生徒数	人	11	10	10	8
	メンタルフレンド登録者数	人	6	8	8	5
成果指標	不登校傾向の児童生徒のうち適応指導教室に通っている児童生徒割合	%	12	9.5	10	6.5
	メンタルフレンド派遣回数	回	206	159	160	65
事業費 計			707	601	696	390
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		707	601	696

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 通室を希望する児童生徒数に大きな変化はないが、不登校傾向の児童生徒数が増加している。 (原因) 医療機関との連携が必要なケースなど一人ひとりの事情が複雑になってきている。また、不登校に対する社会的関心の高まりや休むことの重要性が浸透してきていることも不登校児童生徒の増加要因の一つと考えられる。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(小学校)

[249]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0201	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童	小学校の部活動に対し、必要に応じて技術的指導補助を行う外部講師を派遣する。 小学校の金管バンドに対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する(1校あたり2回派遣)。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。
	児童がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	外部講師派遣時間数	時間	270	266.5	297	221	
成果指標	部活動参加児童数の割合	%	87	82	82	70.7	
事業費 計			890	845	950	792	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	890	845	950	792

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 児童が部活動に興味を持って取り組んでいるが、H30年度実績と比較して部活動参加児童数の割合が11.3ポイント低下している。 (原因) 学校外での活動(塾や習い事など)を行う児童が増えているものと思われる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(中学校)

[250]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0202	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生 教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動を指導する部活動指導員(臨時職員)を配置する。(H30～:県補助対象事業) ・中学校の部活動に対し、必要に応じて技術指導補助を行う外部講師を派遣する。 ・中学校の吹奏楽部に対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する。(1校あたり4回派遣) ・部活動の支援として、大会参加費、自動車借上料等を支給する。 H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
生徒がより部活動に興味をもって取り組み、部活動が活発化している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	部活動指導員及び外部講師派遣時間数	時間		2,237	2,244	1,653	
	部活動への支援額	千円	5,479	6,514	6,418	7,149	
成果指標	部活動参加生徒数の割合	%	91	89	89	89.1	
	各種大会参加への費用支援率	%	100	100	100	100	
事業費 計			5,479	6,514	6,418	7,149	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		1,987	768	768	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	5,479	4,527	5,650	6,381

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 多くの生徒が部活動に興味を持って取り組んでおり、部活動参加生徒数の割合がH30年度実績と比較してほぼ横ばいである。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	教職員の多忙化解消に向け、部活動指導員の有効活用を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
部活動指導員を有効活用し、教職員の多忙化解消の一助とした。			

児童健康安全事業(小学校)

[261]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0203	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 各小学校に校医を指定し、健康事業に取り組む。 校医は内科医、耳鼻科医、歯科医、眼科医、薬剤師とする。 学校保健安全法第13条に基づき、結核(必要者のみ)、検尿(全学年)、心電図検査(小1、4)を行う。 学校の管理下における、負傷・障害・死亡等につき、保護者等に対し、災害共済給付を行う。 児童の健康の保持増進に関する調査研究を行い、児童の健全な発達に役立てる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	小学生が健康で学校生活を送ることができている。 小学生の負傷等の傾向を調査し、負傷する児童の数を少なくして、児童の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	検査参加人数	人	4,947	4,854	4,839	4,839	
成果指標	受診率	%	100	100	100	100	
	医療機関受診率	%	52	56	57	55.4	
事業費 計			42,037	41,148	41,661	41,062	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	42,037	41,148	41,661	41,062

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、児童の健康の保持増進を図ることができている。 治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した児童が医療機関に受診した割合が0.6ポイント低下している。 (原因) 医療機関への受診に対する児童・保護者の意識が低下しているものと思われる。
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	検査後の受診率が低いことへの対策を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	検査後の受診率向上対策を検討しました。		

生徒健康安全事業(中学校)

[262]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0204	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生	各中学校に校医を指定し、健康事業に取り組む。 校医は内科医、耳鼻科医、歯科医、眼科医、薬剤師とする。 学校保健安全法第13条に基づき、結核(必要者のみ)、検尿(全学年)、心電図(中1)、貧血(全員)を行う。 学校の管理下における、負傷・障害・死亡等につき、保護者等に対し、災害共済給付を行う。 生徒の健康の保持増進に関する調査研究を行い、生徒の健全な発達に役立てる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学生が健康で学校生活を送ることができている。 生徒の負傷等の傾向を調査し、負傷する生徒の数を少なくして、生徒の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	検査参加人数	人	2,352	2,314	2,347	2,347	
成果指標	受診率	%	100	100	100	100	
	医療機関受診率	%	34	31	32	44.3	
事業費 計			17,928	17,705	18,232	17,779	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	17,928	17,705	18,232	17,779

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、生徒の健康の保持増進を図ることができているが、治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した生徒の医療機関受診率が13.3ポイント向上している。 (原因) 受診の再勧奨に努めたことや医療機関への受診に対する生徒・保護者の意識の向上が考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	検査後の受診率が低いことへの対策を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
検査後の受診率向上対策を検討しました。			

学校体育支援事業

[266]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0205	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委及び愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所(通称「尾張旭市中小学校体育連盟」)が主催で行う小学校陸上記録会及び小学校球技大会の入賞者に対してメダルを授与する。 ・愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所に小中学校の体育事業の運営を委託する。 事業内容:小学校陸上記録会、球技大会の運営、中学校の部活動振興、中小学校体育連盟の振興等 ・愛知県中小学校体育連盟に負担金を支払う。 ・瀬戸市中小学校体育連盟と共催で中学校総合体育大会瀬戸・旭地区大会を実施し、その経費分担金を支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒の体力が向上している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所への委託事業メニュー数	数	3	3	3	3
	愛知県中小学校体育連盟会費等負担金	千円	612	609	671	671
成果指標	小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数	人	653	661	660	645
事業費 計			1,272	1,276	1,339	1,336
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,272	1,276	1,339

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数が16人減少し、授与割合も11.8%から11.4%と0.4ポイント低下している。 (原因) 極めて運動能力の高い児童生徒が減少したため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童生徒健康管理事業

[236]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0206	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断を実施する。 ・小学校2・4年生と中学校1年生を対象に年1回知能テストの検査を実施する。 ・尾張旭市の小学校及び中学校における学校保健の研究、調査並びに普及充実を図るため、市学校保健会に学校保健事業業務を委託する。 ・学校保健診療結果通知負担金 瀬戸旭医師会 1,000,000円(H30に増額) 尾張旭市歯科医師会 500,000円(H30に増額)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒が健康で学校生活を送ることができている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	学校保健会委託事業数	事業		4	4	4	
	学校保健会委託料	千円		650	650	650	
成果指標	学校保健会表彰者数	人		15	15	16	
	よい歯の表彰者数	人		627	627	521	
事業費 計			3,260	5,131	4,349	4,321	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		1	765	1	5
		オ 一般		3,259	4,366	4,348	4,316

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法の規定により必要な検査を実施することができているが、よい歯の表彰者数が106人減少した。 (原因) 審査対象学年である小学校6年生及び中学校3年生の審査基準を満たさない児童生徒が増加したものと考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校給食センター事業

[1190]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0301	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校児童生徒 学校給食センター 市民(食育関連) 	<p>安全で安心な学校給食を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年9月、学校給食センター稼働とともに調理業務等を民間委託開始(委託契約は8月から) 平成30年8月1日から、公募型プロポーザルにより第3期の契約を締結 民間企業の専門的な知識、技術を活用し、業務の効率化と経費の削減 市の役割:献立の作成、食材の購入、調理の指示及び確認 委託業者の役割:食材の管理、調理、配送、回収 一般給食のほか、アレルギー対応給食を提供 対象アレルゲン:卵、乳 提供方法:除去食及び代替食の提供 食育を推進する。 市民対象の講演会や給食試食会を開催 委託業者と連携し、親子料理教室や給食センター探検学習等の食育事業を実施 市内小中学校の児童生徒に人気のある定番メニューのレシピを市のホームページやウェブサイトを使用して発信する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい給食を食べ健やかに成長している。 市及び委託業者により適正に運営されている。 健全な食生活を実践している。(食育関連) 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	調理した食数(年間給食回数)	食	1,369,518	1,352,893	1,360,000	1,250,041	
	調理したアレルギー対応給食数(卵、乳)	食	4,800	4,476	4,600	4,213	
成果指標	残滓量	kg	48,689	50,193	50,000	44,132	
	アレルギー給食の提供率	%	100	100	100	100	
事業費 計			469,057	467,399	482,982	447,744	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		355,690	351,282	362,735	324,811
		オ 一般		113,367	116,117	120,247	122,933

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標Cについては、H30実績とR元実績を比較すると12.1%向上している。</p> <p>(原因) 食べ残しが減るように、味付けの工夫や新しいメニューを加えるなどを行っている。</p> <p>また、アレルギー対応給食は保護者、学校と連携を図り、確実に提供している。</p>
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	給食配送車を計画的に更新します。 教員の多忙化解消に向けて、給食費の徴収方法の見直しを検討します。 アレルギー対応給食の対象アレルゲンの追加を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	給食配送車更新計画策定(9月) 令和3年度からの給食費徴収システム導入に向けて、教育行政課と検討 乳糖不耐症の児童生徒数等について、各小中学校において調査(7月)		

学校給食センター維持管理事業

[1222]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0302	実施計画	対象
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校給食センターの施設及び設置機器	安全で安心な学校給食を安定的に提供するため、施設や設備機器の監視点検及び修繕を実施する。 平成25年度から学校給食センター運営事業(21-0301)の施設維持管理部門として事業の区分を行い、その経費を移行した。 <主要事業内容> 施設、機器等修繕...不具合の発生した施設及び設備機器の修繕を実施 空調設備保守点検委託...空調設備の保守点検、調整、清掃等を実施 給湯設備保守点検委託...給湯設備の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	調理業務等が支障なく行えるよう適切に維持管理され、重大な事故等が発生せず、安全性が保持できている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	施設・設備・機器修繕件数	件	30	36	35	25	
	各種維持管理業務外部委託金額	千円	10,973	10,956	12,356	11,508	
成果指標	機械設備の重大な不具合発生件数	件	0	0	0		
事業費 計			55,890	74,652	73,037	71,454	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	55,890	74,652	73,037	71,454

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	(状況)修繕件数はほぼ横ばいであるが、業者による点検において、今後、経年劣化による不具合が生じる箇所があるとの報告を受けている。
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	調理機器等の経年劣化による故障を防止するため、計画的なオーバーホールや更新を行います。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

食缶類洗浄機及びコンテナ洗浄システム修繕実施(8月)
厨房機器更新計画策定(2月)

中学生海外研修事業

[285]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0902	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市立中学校の第3学年在校生	オーストラリアのヴィクトリア州ウィットルーシー市へ中学校3年生(12人)及び随行者(2人)が、9泊10日で訪問し、現地の中学校に体験入学・ホームステイを行う。(費用負担:保護者5割 市費5割) ・応募者から、作文と面接による1次選考を行い、選考された生徒の中から抽選で参加生徒を決定する。 ・事前に保護者を含む説明会及び参加者の研修を実施する。 ・出発日には激励の出発式を行う。 ・帰国後に報告会を行うとともに報告書を作成する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) ・参加生徒がホームステイや現地校への体験入学を通じ、外国の文化等に触れることにより、幅広い視野と国際感覚が育っている。 ・参加生徒の体験報告により、他の生徒も外国を身近なものとして興味をもって	H29年度は中学生海外研修第25回目となり、市長が研修に同行した。 R元年度はR2年度の市制50周年記念事業の意見交換等のため、市長及び教育長が研修に同行した。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	生徒の研修日数	日	10	10	10	10
	参加生徒数	人	12	12	12	12
成果指標	ホームステイをして、よかったと思う生徒割合	%	100	100	100	100
	対象生徒に占める応募生徒の割合	%	12	6.7	8	7.6
事業費 計			3,608	3,716	4,470	4,294
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		3,608	3,716	4,470

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 対象生徒に占める応募生徒の割合が0.9ポイント向上している。
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	応募者増加に向けた対応を検討します。 市制50周年に向け、訪日事業への調整を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	・応募者増加に向けた対応を検討した。 ・市制50周年に向け、訪日事業の日程等の調整を進めた。		

就学児童・生徒調査事業

[286]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0903	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	就学児童・生徒	バッチ処理により学齢簿の作成。 就学児童・生徒の通知書の作成。 児童・生徒に係る異動の把握と学齢簿の作成。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
就学児童・生徒の確認及び異動を的確に把握することにより、迅速に就学通知及び学齢簿の作成等の就学事務ができています。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			977	928	946	937
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	977	928	946

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

小学校入学・卒業報償事業

[288]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0904	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校1年生、6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生に入学式の日記念品として、帽子、防犯ブザー、ランドセルカバーを贈呈する。 ・小学校6年生に卒業式の日記念品として英和辞典を贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
小学校への入学あるいは卒業をするときに、記念品を受け取るにより、新小 小学校生活の安全と、中学校での勉強の役 に立っている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	入学式記念品の購入数	個	757	784	793	790
	卒業式記念品の購入数	個	839	825	835	860
成果指標	入学式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
	卒業式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			2,005	2,081	2,300	2,190
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,005	2,081	2,300

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 児童が入学記念品及び卒業記念品を適切に受け取ることができている。
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

中学校卒業報償事業

[289]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0905	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校3年生	中学校3年生に卒業式の日に記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学校を卒業することにより義務教育が終了し、卒業式を終え、その節目になるものとして記念品を受け取ることで卒業の喜びを深め、新生活で活用している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	記念品の購入数	個	830	780	765	795	
成果指標	記念品を受け取った生徒の割合	%	100	100	100	100	
事業費計			354	312	365	302	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	354	312	365	302

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 生徒が卒業記念品を適切に受け取ることができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校指導事務

[294]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0908	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	学校 教職員	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	指導主事派遣にかかる負担金を愛知県との協議により負担 市の負担は、 平成27年度まで 1/2負担 平成28～30年度まで 1人目：1/2負担、2人目・3人目：2/3負担 平成31年度～ 1人目：1/2負担、2人目：2/3負担、3人目：全額
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	学校運営が適正に行われている。	指導主事3人を教育委員会事務局教育行政課へ配置 ・管理指導主事(1人) ・教育行政課指導主事(2人) 定例会での指導伝達(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会) その他随時指導	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	派遣指導主事の人数	人	3	3	3	3
	定例会開催回数(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会)	回		37	36	36
成果指標						
事業費 計			16,601	18,281	11,559	12,045
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		16,601	18,281	11,559	12,045

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-